



キリン食生活文化研究所

2017年9月26日
レポート vol.68

～あなたのくらしのアンケート～ ギフト

サマリー

あなたは日常的な機会に「プチギフト」をしていますか？

どんな場面でプチギフトを贈っていますか。

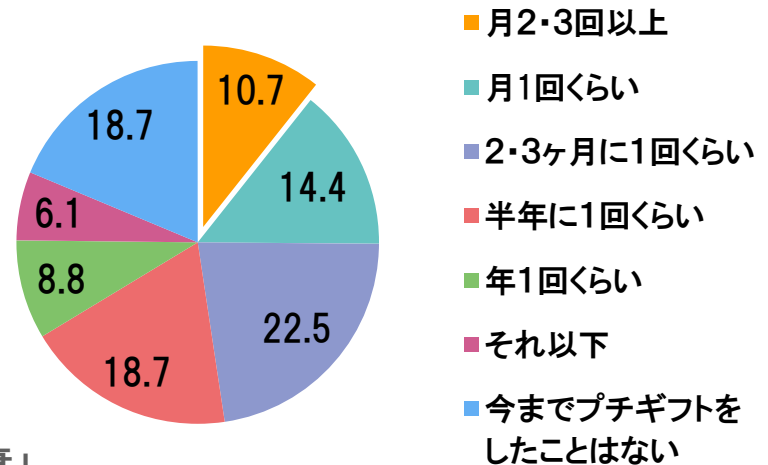
キリン食生活文化研究所は、「ギフト」について調査を実施(2017年7月25日～8月1日、全国、ウェブ調査)、男女15～69歳 計16,919名の方の回答をまとめました。

お礼やおすそわけなど、日常的な機会にするプチギフトを「月2・3回以上している」人は11%でした。一方「今までしたことがない」方も、男性を中心に19%いらっしゃいます。

1年間にプチギフトを贈った相手のトップ3は、「母親」、「夫・妻」、「仕事関係の仲間」。男性では配偶者に贈った人が3割を超え、女性より多くなっています。一方女性は「近所の人」や「その他の友人」、「ママ友」など、比較的緩いつながりの人にプチギフトを贈る割合が高い傾向です。贈った場面は「気軽なお礼」が圧倒的に多く、若年女性では「おめでとう」、「頑張っている人への差し入れ」、「お疲れ様」など、贈る相手の状況にあわせたプチギフト機会が目立ちます。

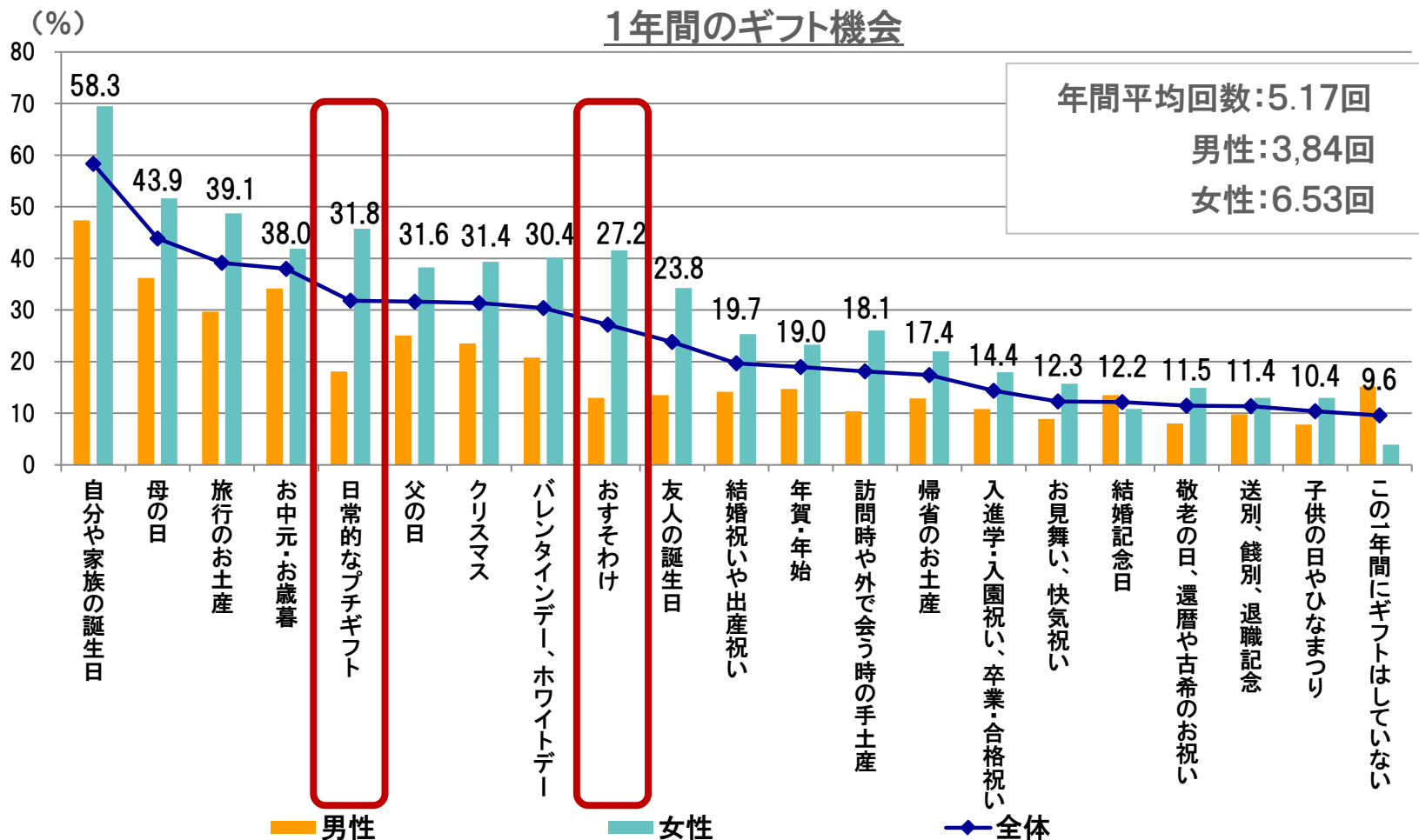
「うれしかったプチギフト」の自由回答には、たくさんの心温まるエピソードをいただきました。ちょっとしたもので気持ちを表現するプチギフトから、人間関係を豊かにするためのヒントが見つかりそうです。

Q.今までにプチギフトを贈ったことがありますか？



Q.この1年間にギフトをした機会は？

1年間のギフト機会は「自分や家族の誕生日」が58%とトップ。「母の日」、「旅行土産」、「中元・歳暮」、「日常的プチギフト」、「父の日」、「クリスマス」、「バレンタイン・ホワイトデー」が続く。「結婚記念日」を除き、いずれの機会も男性より女性が多い。特に「プチギフト」や「おすそわけ」で男女差が大きい。平均は5.17回。

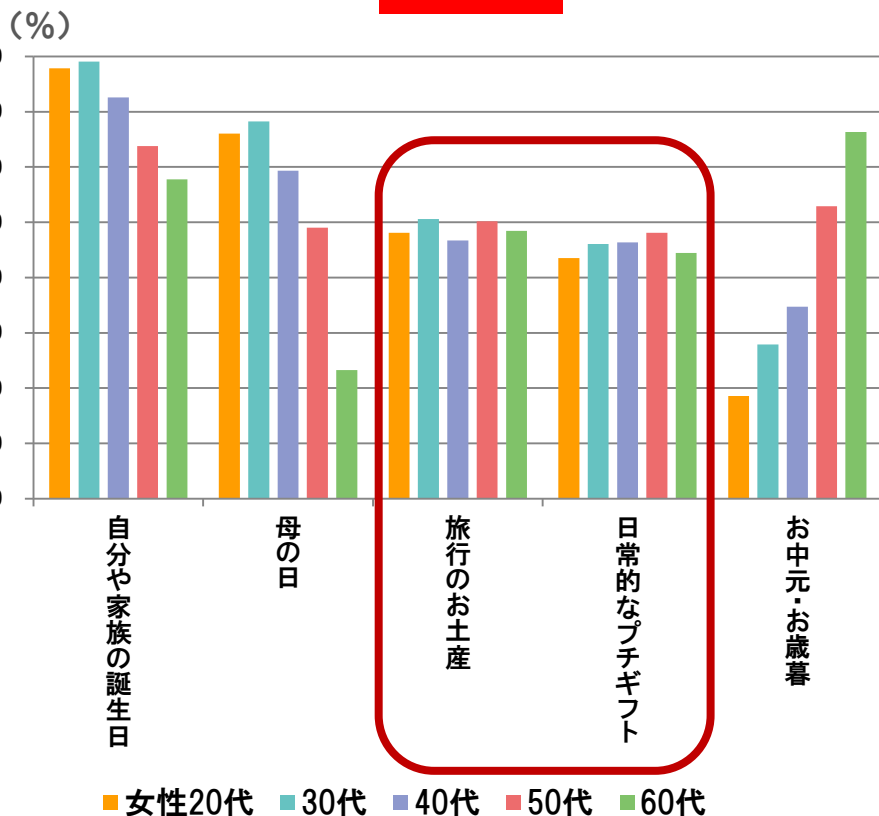


Q.この1年間にギフトをした機会は？（性・年代別）

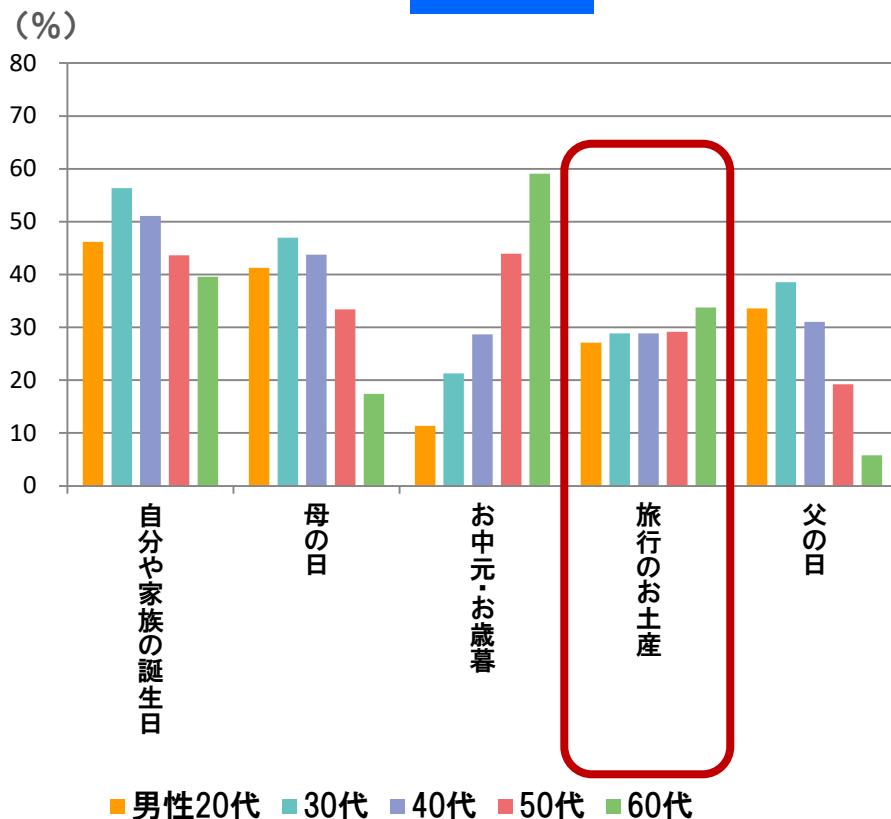
1年間のギフト機会を、男女それぞれのトップ5について年代別に見た。男女ともトップ2は「自分や家族の誕生日」、「母の日」で、男性5位の「父の日」も含め、こうした家族のお祝いは20～40代で高め。一方、「中元・歳暮」は年代が上がるほど多くなる。「旅行土産」や「日常的プチギフト」は年代による差が小さい。

1年間のギフト機会 回答数が少ない15-19才はグラフ掲載しない(以下同様)

女性



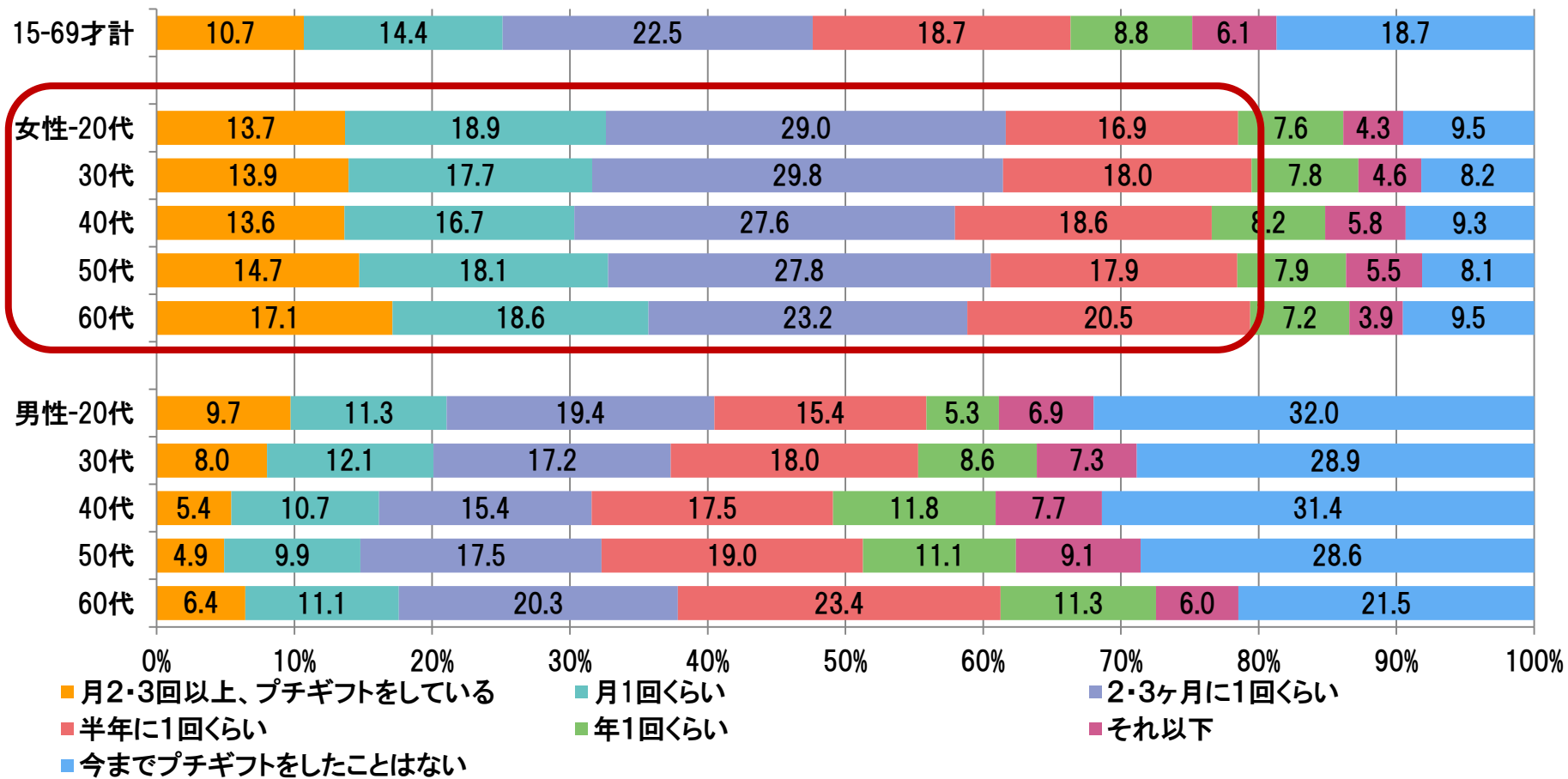
男性



Q.今までにプチギフトを贈ったことがありますか？ その頻度は？

お礼やおすそわけなどの日常的な「プチギフト」を贈る頻度を性別に見ると、「月2・3回以上」の高頻度の人、男性より女性。年代別の差は大きくないが、男女40代や男性50代がやや少ない傾向。男性20～50代は経験のない人も3割内外いる。女性は「半年に1回」まで含めると、8割近くがプチギフトを贈っている。

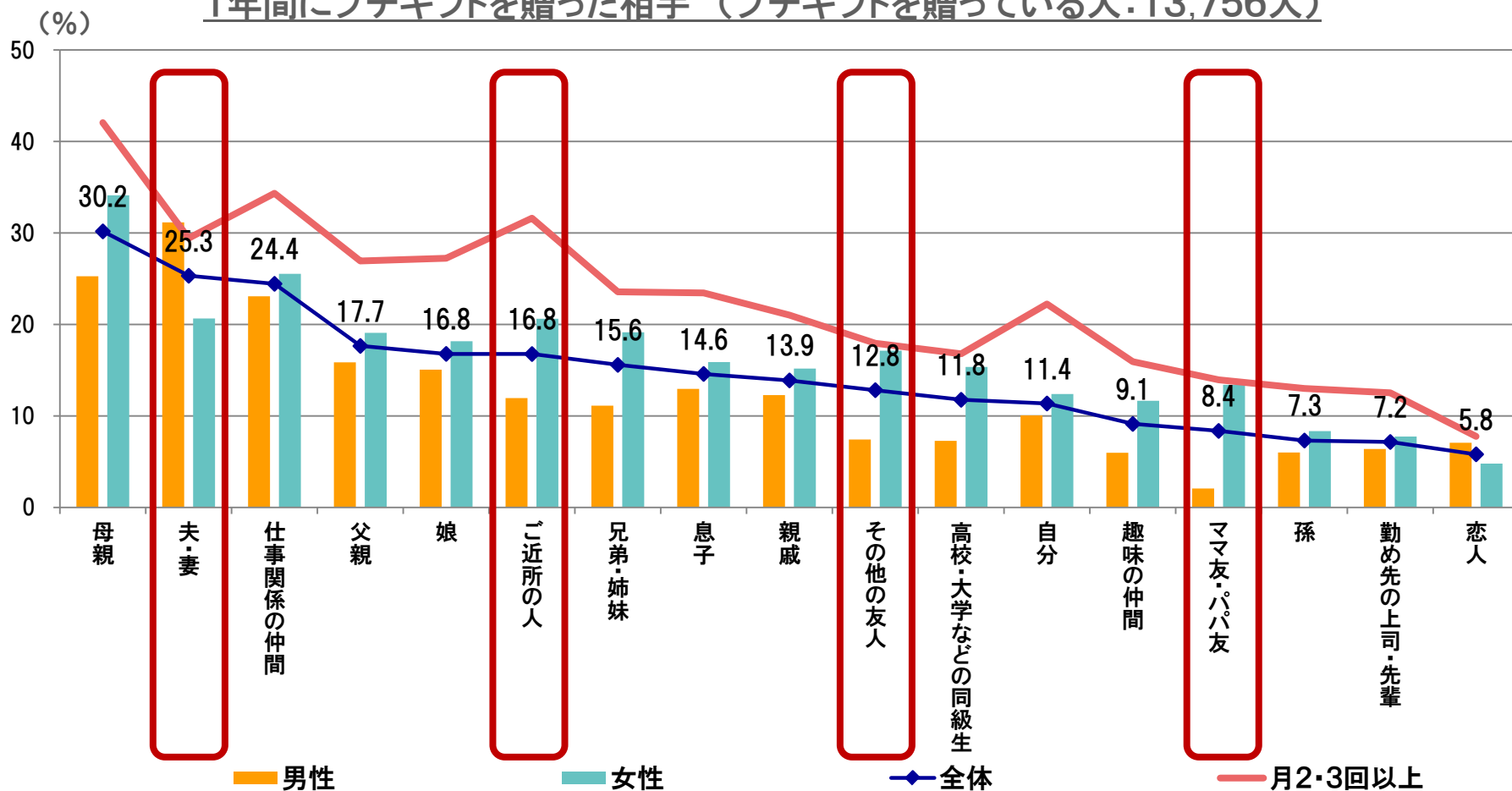
プチギフトを贈った経験と頻度



Q.この1年間にプチギフトを贈った相手は？

プチギフトを贈った相手は「母親」、「夫・妻」、「仕事関係の仲間」がトップ3。男性では配偶者に贈った人が3割を超え、女性との差が大きい。一方女性は「近所の人」や「その他の友人」、「ママ友」など、緩いつながりと思われる人に贈る割合が高い。月2・3回以上の高頻度の人では「近所の人」が3割を超えている。

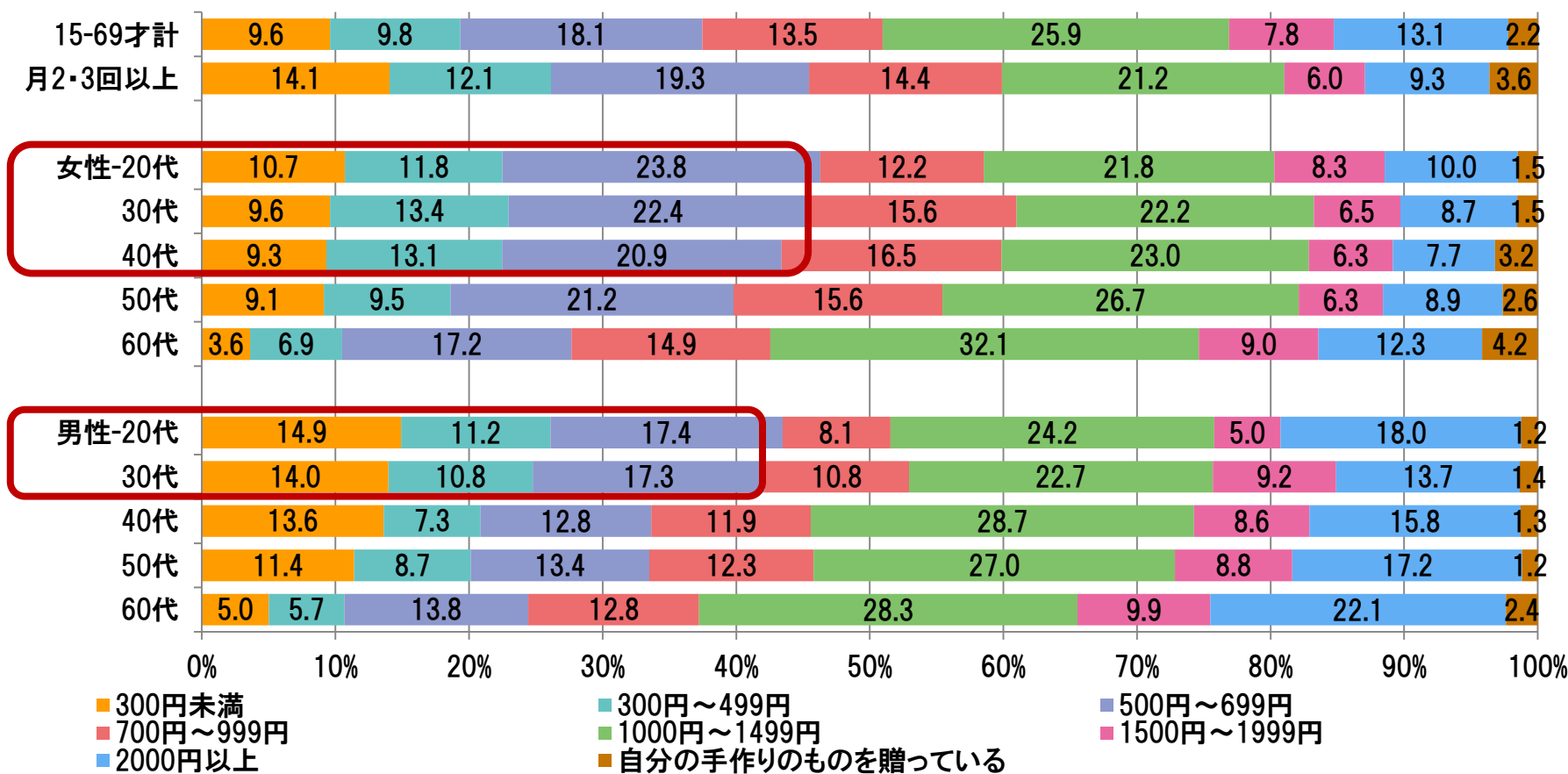
1年間にプチギフトを贈った相手（プチギフトを贈っている人：13,756人）



Q. 1回・1人当たりのプチギフトの金額で一番多いのは？

1回・1人当たりのプチギフトの金額として最も多かったのは、「1000円-1499円」。次いで「500円-699円」だった。年代別には男女とも60代だけが高めの回答で、女性20～40代、男性20・30代や、月2・3回以上の高頻度の人では、699円までの“プチ価格”が4割を超えている。

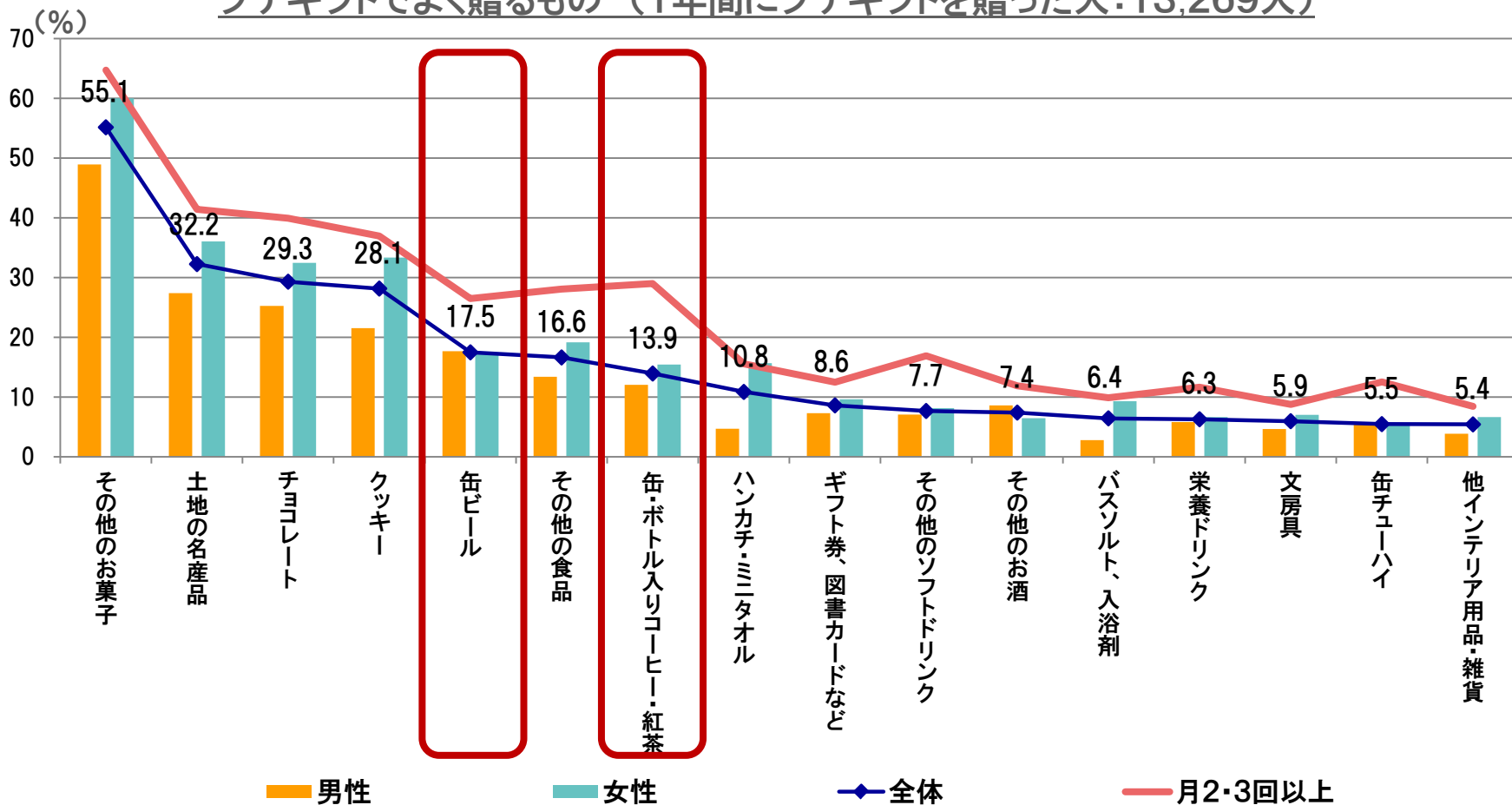
プチギフトで最も多い金額（1年間にプチギフトを贈った人：13,269人）



Q.プチギフトとしてよく贈るのは？

よく贈るのは「その他の菓子」、「土地の名産品」、「チョコレート」、「クッキー」が上位。全体に男性より女性が高めだが、「缶ビール」などのお酒類では男女が並んでいる。月2・3回以上の高頻度の人では、全体と比べて「缶・ボトル入りコーヒー・紅茶」が多い。スタンプやアプリなどのデジタル系は2%以下と低かった。

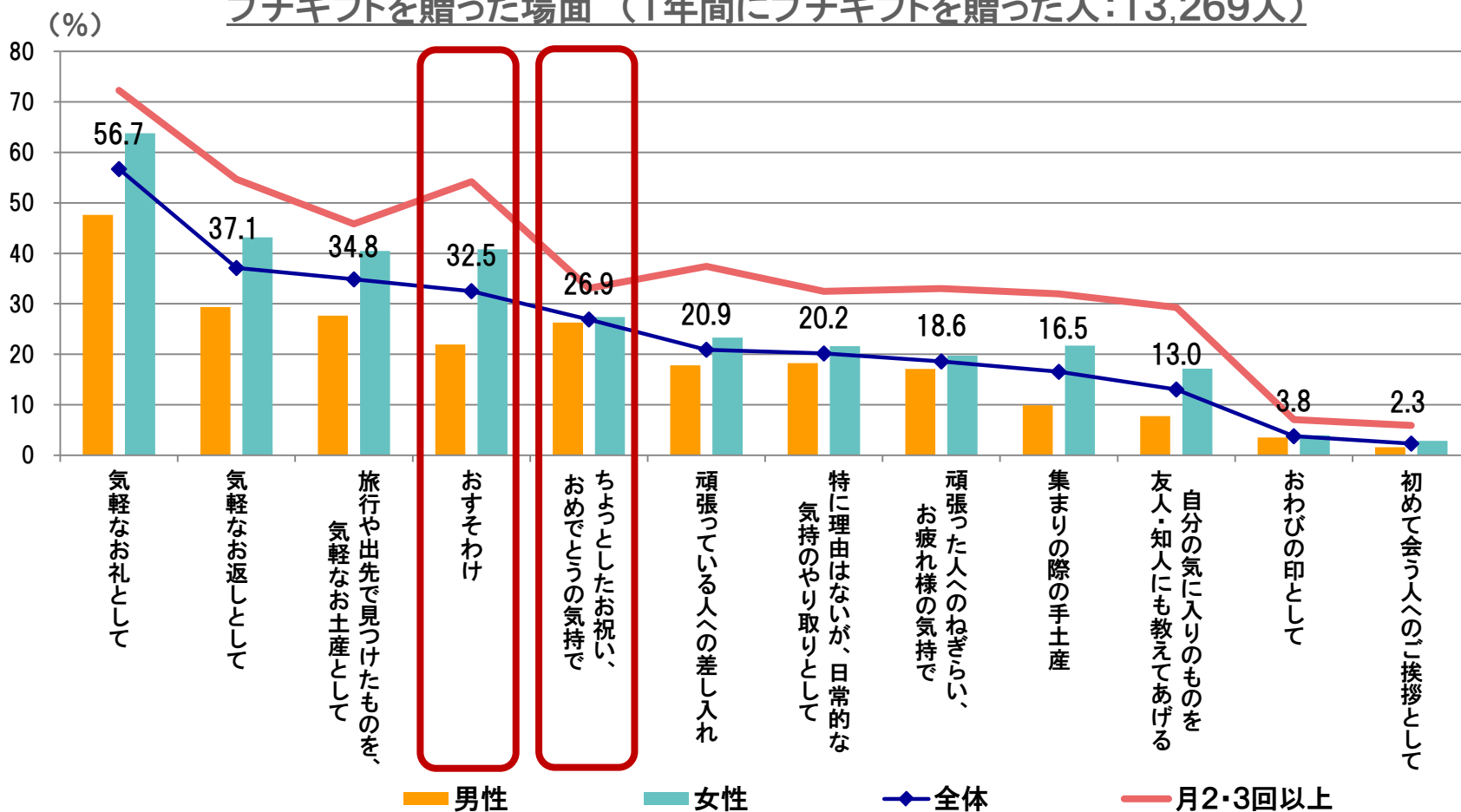
プチギフトでよく贈るもの（1年間にプチギフトを贈った人：13,269人）



Q.プチギフトを贈った場面は？

「気軽なお礼」が圧倒的に多く、次いで「気軽なお返し」、「気軽なお土産」、「おすそわけ」が続く。全体に男性より女性が高めだが、「ちょっとしたお祝い・おめでとう」は男女が並んでいる。月2・3回以上の高頻度の人では全体と比べて機会が多いが、特に「おすそわけ」が顕著。

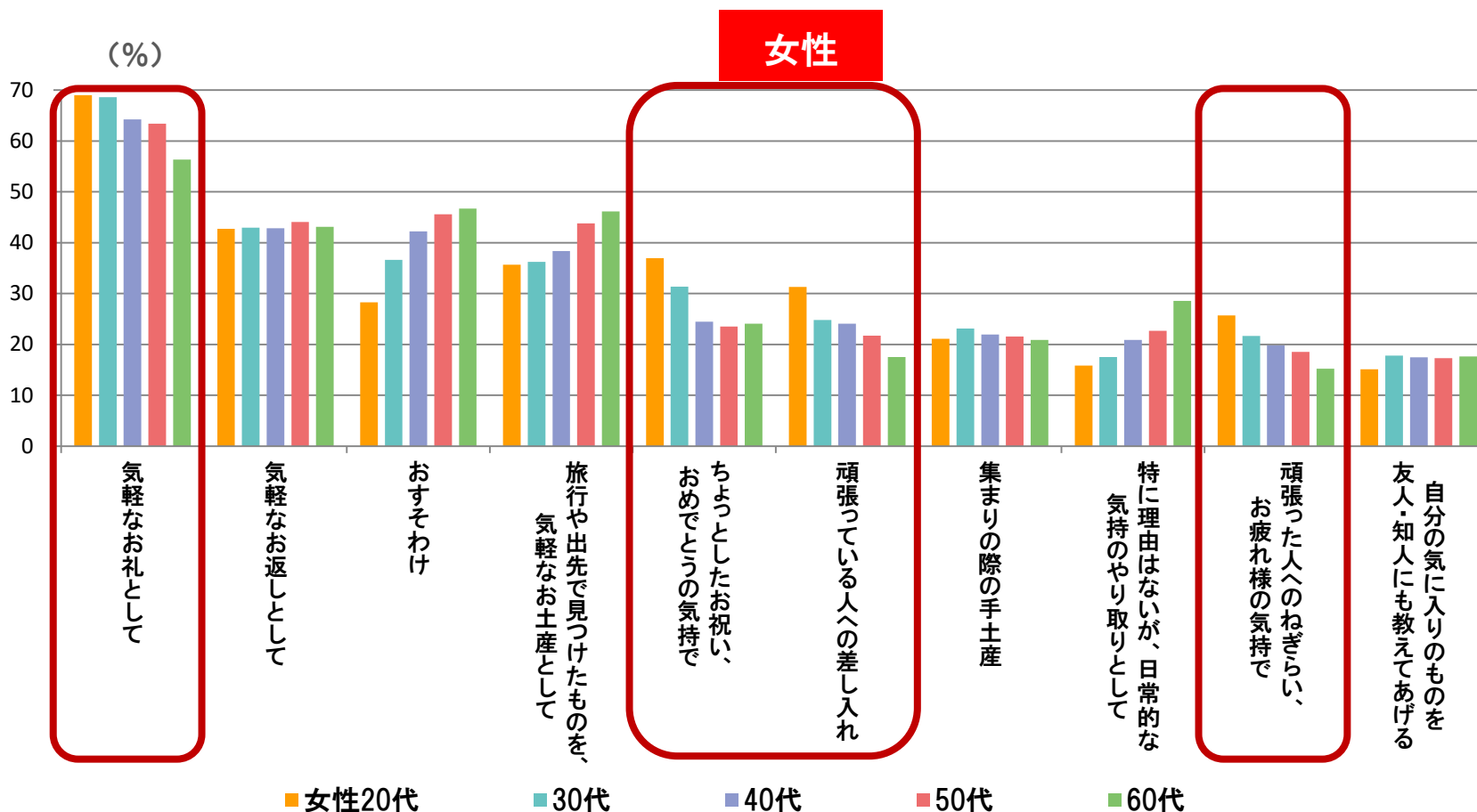
プチギフトを贈った場面（1年間にプチギフトを贈った人：13,269人）



Q.プチギフトを贈った場面は？（女性・年代別）

プチギフトを贈る頻度の多い女性に絞って、贈った場面を年代別に見た。若年層では「気軽なお礼」のほか、「おめでとう」、「頑張っている人への差し入れ」、「お疲れ様」など、贈る相手の状況にあわせたプチギフト機会が多くなっている。年長層は「おすそわけ」、「お土産」など自分の事情からの機会が多い傾向。

プチギフトを贈った場面（1年間にプチギフトを贈った女性：7,440人）

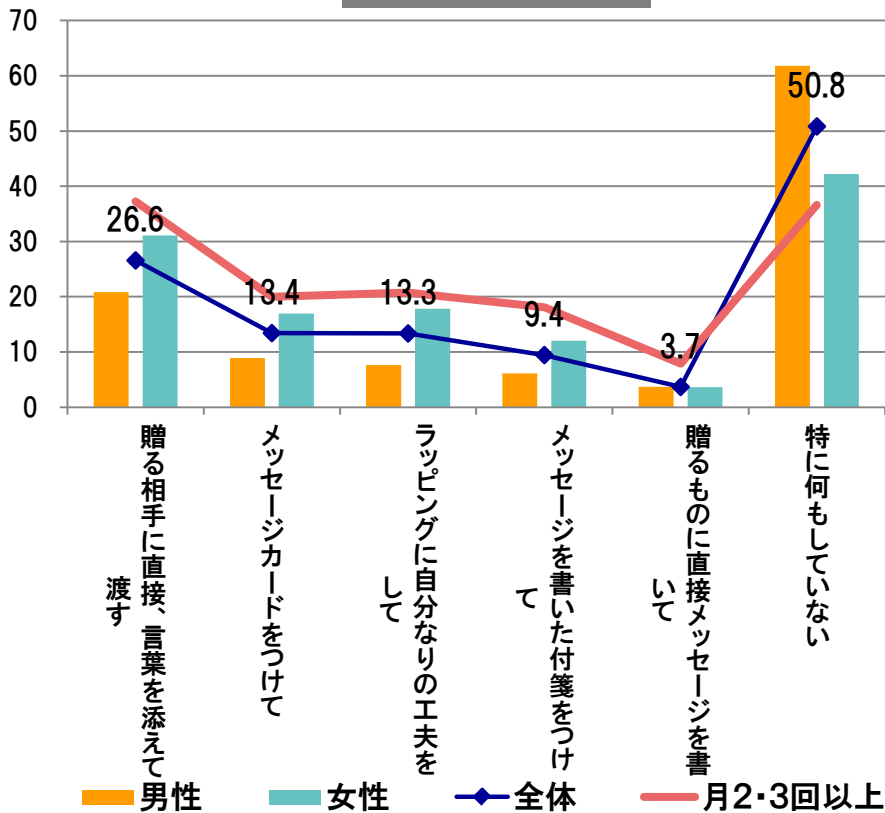


Q.プチギフトをする際に実施していることは？

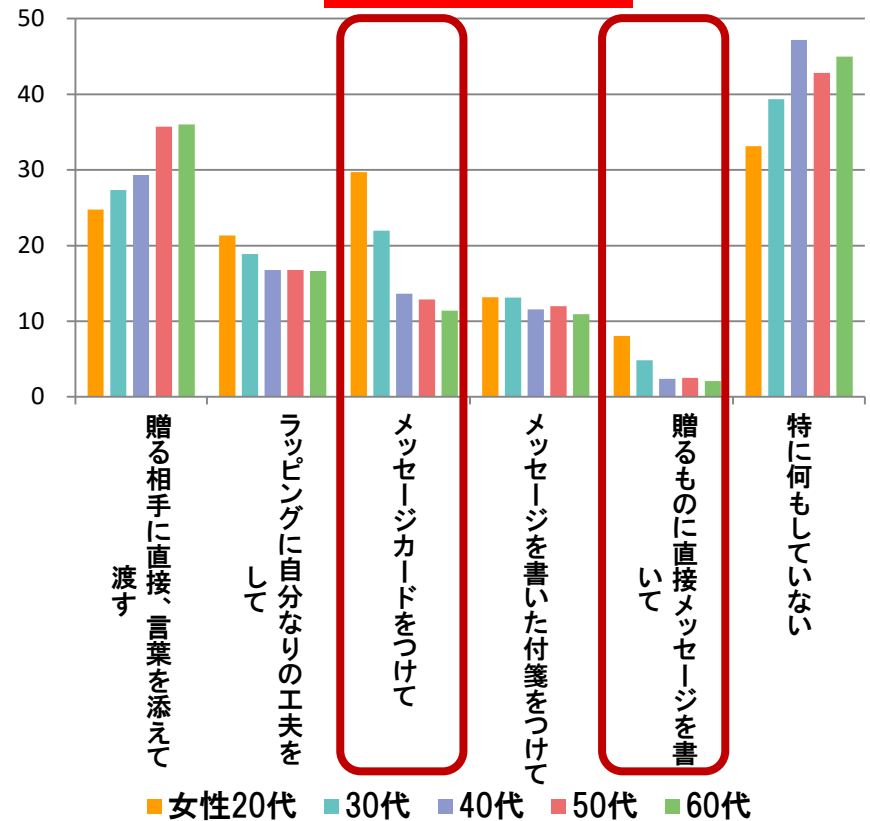
全体では「直接、言葉を添えて渡す」人が最も多い。女性の2位は「ラッピングに工夫」、男性は「メッセージカード」。女性・年代別には、年代が上がるほど「直接、言葉を添えて」が高くなる。一方、20代では「メッセージカードをつけて」が1位。数字は低い「贈るものに直接メッセージを書いて」も若年層で高い。

プチギフトでよく贈るもの（1年間にプチギフトを贈った人：13,269人）

性別・頻度別



女性・年代別



Q.もらってうれしかったプチギフトは？（自由回答）

うれしかったプチギフトとしては、仕事で疲れたときの差し入れなど「自分が欲しいタイミング」や、「好きなもの」、行列して買うような「入手しにくいもの」をもらった、という回答が多かった。「何でもないとき」、「知らなかったもの」など、サプライズや新しい体験につながるプチギフトのエピソードも寄せられた。

うれしかったプチギフト（自由回答）

クレーム対応が終わり戻ったら机に缶ビール。「先に帰ります」って付箋。(30代男性)

重要な会議前に、『takeiteasy』の言葉とともにもらったノンアル飲料。(30代男性)

「あ、そうそう…」って、いつもどおりのテンションで本をくれた。わざわざ”普通”にしてくれたのも嬉しかった。(20代男性)

なんでもないときにもらうと嬉しい。アイスクリームやスイーツ。(40代男性)

穴あきの軍手を仕事で使っていた。知人が軍手を一包くれた。私に必要な物を選ぶ気遣いが嬉しい。(50代男性)

旅行先でしか買えないおみやげ。さりげなく渡され、ちょっとびっくりした。(50代男性)

行列して数量限定のお菓子を。(50代男性)

おつかれさまなど
嬉しいタイミング

何でもないときに

自分の好きなモノ
ほしいモノ

入手しにくいモノ
わざわざ

新しい体験

お疲れ様です！お先失礼します！の付箋が貼ったチョコレート。疲れがピークだったので、ほっこりして頑張れた！（20代女性）

初めてのカラオケの前に、ちょっと珍しいのど飴をもらった。(20代女性)

なんでもない日にたまたま夫が花1輪をプレゼントしてくれるのが嬉しい！（20代女性）

最近仲良くなったママ友にわたしの好きなキャラクターのLINEスタンプを。(20代女性)

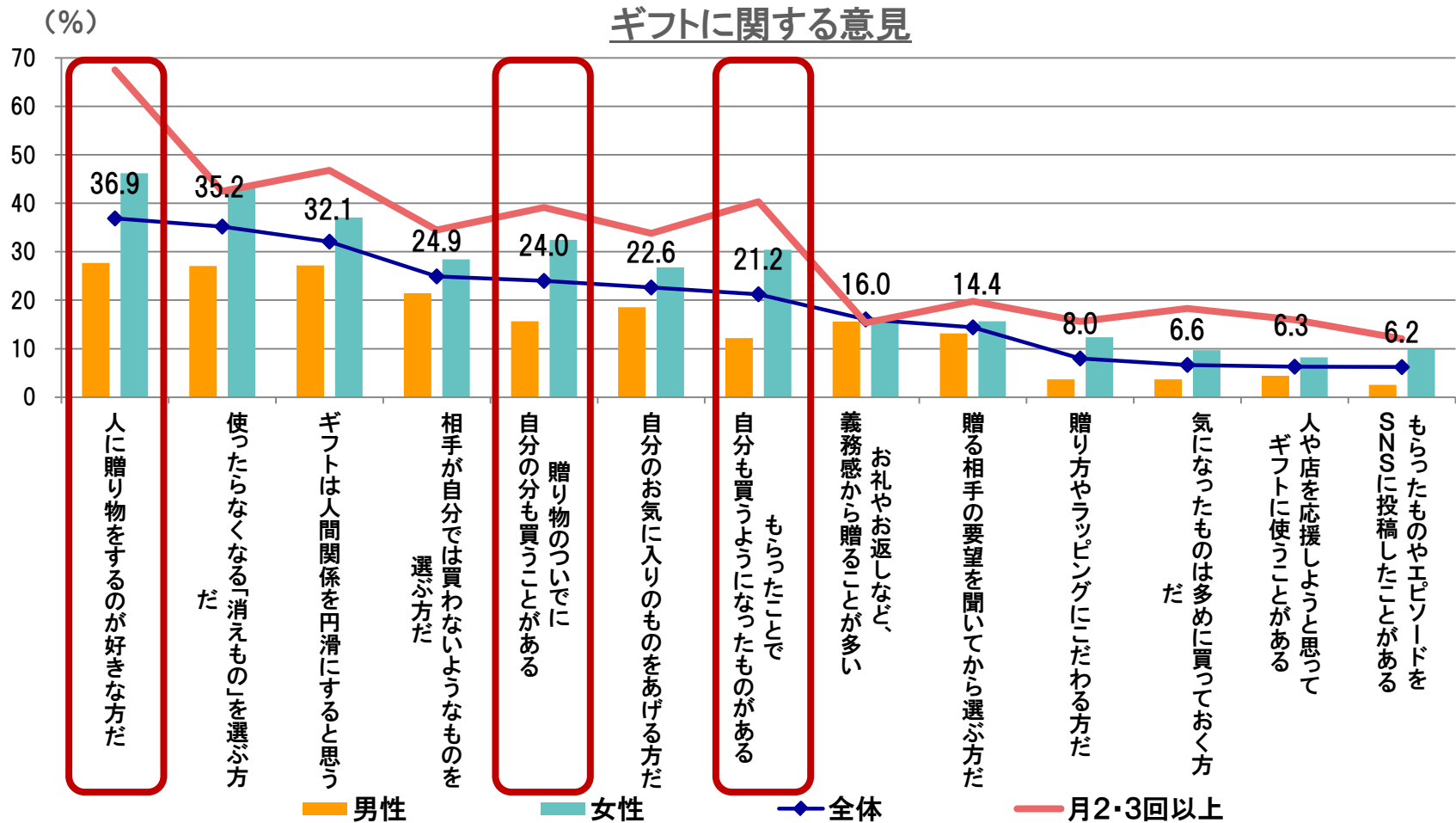
上司からパクチーポテトチップス。私がパクチー大好きだと知っていて買い物に行った時にたまたまみつけてくれた。(20代女性)

お取り寄せのおすそ分け。ほんの少しではなかなか手に入らない。(40代女性)

サーカスのチケット。興味がなくても、楽しめるんだと実感。短い人生何事も、経験してみようと、改めて感じた。(40代女性)

Q.ギフトに関する意見（あてはまると答えた比率）

全体では「贈り物をするのが好き」、「消えものを選ぶ」、「人間関係を円滑にする」が肯定意見の上位。男性と比べ女性は、「ついでに自分の分も買う」、「もらったことで自分も買うようになった」など、ギフトと自分用購入の関係が強いようだ。プチギフトの高頻度者は、「贈り物をするのが好き」が極めて高い。



Q. 「ソーシャルギフト」を知っていますか？ 経験したことがありますか？

LINEギフトやgifteeなどの「ソーシャルギフト」の認知・経験は男女とも20・30代で高く、経験者は女性20・30代で3割、男性20・30代で2割弱。グラフにはないが、ソーシャルギフトで贈りたいもの(贈りたい人ベース)の1位は「ギフト券・図書カードなど」(31%)で、特に20代女性では4割と高い。

「ソーシャルギフト」の認知・経験

